

二学期を迎え、昨年と同様に文化祭に向けての取組、基礎製図検定、そして体育祭。目一杯の行事の中、我がクラスの愉快的仲間たちは一生懸命頑張りました。クラス通信空白の二ヶ月、本当に申し訳ありません、ようやく愉快的仲間たちの様子をお知らせできることになりました。

文化祭 大盛り上がりでした

昨年を思い出すと「1の7の日常」、ほぼ大道具を作ることなく、小道具もなし、衣装は制服。ほとんどが演技するのではなく、自分たちの日常生活を舞台上で演じました。演劇ではなく演芸とコメントされ、どう改善したいのか困ったのですが、夏休み明けから一気に取り掛かり、結果としては三位でしたが、非常に思い出に残る作品でした。昨年

の結果を受け、今年の文化祭の取組はどうしようか話をしていく中で、演目が「白雪姫」に決まりました。私からの提案は何時もの事です



が、クラス全員が舞台に立つこと。ただ出てくるだけではなく、セリフがあつて、演技をする事でした。文化祭企画委員を中心に夏休み中にシナリオを作り、出来上がったシナリオから脚本へと仕上げ、配役等を決めました。また、パネル、ポスターについては夏休み中に小西君が登校し、真夏の暑い教室で、製作に取り掛かってくれました。併せて衣装については常盤さんが一人で引き受けてくれました。生地から購入し、完全な手作りの衣装をお母さんにも協力いただき、本当に素敵な衣装を作ってくれました。夏休み明けからは脚本読み合わせ、動きの確認、大道具、小道具の製作と本当にあつという間に時間が過ぎ去っていきまし

た。途中、何度も生徒たちと意見がぶつかり、「もう知らん、勝手にお前らでやれ」と言つて教室を出て、職員室で何か自分



たちの悪かったところを言いに来るかど待っていたのですが、一向に来る気配はなく、それどころか、最終点呼の際に教室に戻った時の、担任がそこに居ないにも拘らず、みんなが和気藹々と大道具を作っている風景を見て、担任が居なくてもここまで出来るクラスは凄いと正直感動しました。ただ、少し寂しい気持ちになりました。



毎日放課後六時三十分まで文化祭に向けた活動を行い、九月二日(土)、三日(日)にも集まって練習をし、道具作成をしました。本当にクラスみんなが一生懸命に取り組みました。閉会式の結果発表の際、昨年は三位でした。いきなりクラスが呼ばれて、みんなショックを受けていたのですが、今年はどうかと私自身もドキドキしていたのですが、名前を最後に呼ばれることはなく、二位でした。正直悔しかったですが、たぶんみんなも同じ思いでした。その後各賞発表で、ポスター二位、パネル三位を頂きました。今年は手作りの衣装、沢山の大道具、小道具を作ったという事が高い評価を受けて、学年唯一の「ハンドメイド賞」を頂きました。悔しい気持ちはあるものの、前向きに次こそはという気持ちを持った生徒も

沢山居ました。自分も前向きに、いただけた賞を誇りに思い、来年こそは頂上を手に入れたらという熱い思いがこみ上げてきました。

先日約半月以上たってから感想を聞いたのですがみんなまだ悔しさが一杯でした。紹介します。

「今回は一番長い時間演劇をして、声も響いていたので、一位を取れただろうと思っていた分二位だと聞いた時はとても悔しかったです。」(植村)、「今回の文化祭は自分にとっては大成功だったと思います。結果は二位でしたが、自分が今回出来た演技としては一年生の時よりも達成感がありました。(梶原)、「今回はハンドメイド賞を取る事が出来たのが良かったです。常盤さんが衣装を作ってくれて、他の人も木、トロッコ等をみんなで協力して作ったから取れた賞だと

思った。(片畑)、「どここの誰よりも残つて練習をしたのにこのような二位というので終わってしまったので、来年こそ絶対に一





位を取ってやろうと思いましたが。(相模)、「なんともないフリをしていたけど、悔しかったけど、絶対に後悔はしていません。全部含めて最高の思い出になりました。(高橋ゆ)」、「二位はとも悔しいし、一位の自信があったのについて感じですけど、ここまで自信を持てたのは、頑張ったからなんだと思っただ。(辻三)」、「高校の文化祭といえば衣装作りというイメージがあったので、出来て良かったと思いました。結果は悔しい所もあったけど、楽しく出来たので良かったのではないかと思います。(常盤)、「とても面白かった、見て飽きなかったとか、メッチャ綺麗で格好良かったとか、沢山の称賛の声があったので本当に嬉しかったです。けど学年の順位が二位で少し泣きそうなくらい悔しかったけど、その悔しさをバネに来年の文化祭は絶対に一位になってやろうと思えました。(西岡)」、「本番前の準備では本当に緊張してやりたくないとも思っていました。けどそんなことも気にせずちゃん

基礎製図検定追受験しました
文化祭の興奮も冷めやらぬ内に、昨



とやりきれたことが結構嬉しいと思いました。(堀)、「今回は白雪姫で自分としてはみんな頑張っていたと思えます。例えば昨年とは違って大小道具を机や床を傷つけないように努力し、制服を絵具で汚しながら協力して作れて良かったと思っています。(山田)」、「今年こそはと思っていたけれど、まさかの二位という結果になってしまっただけでも最後まで皆と共に頑張った練習をやりきった事だからあまり悔いはないなと思いました。(吉田)」
みんなありがとう、次こそは絶対に優勝しよう。締めはみんなの笑顔です。

九月二十九日(金)、生憎前日が天候不良のため体育館での予行演習となり、二年連続で朝から行進練習を行い、プログラム内容を若干変更しての体育祭の実施となりました。朝から前日までの天気は嘘のように好天に恵まれ、気持ちのよい一日を過ごせました。鏝田校長先生から、「参加することに意義があるという言葉は私は嫌いです。どうせ参加するなら、高みをめざし、その

みんな頑張った体育祭
基礎製図検定合格者一覧
植村・小田原・川越・相模・高橋た・高濱・辻元・常盤・西岡・船川・堀・松井・森本・山田・吉田以上十五名の皆さん、本当に合格おめでとうございました。

年全員受験した基礎製図検定の追受験が九月十五日(金)に行われました。講習は私のクラブ指導との関係で九月十日(日)から始め、一年生機械技術科三十名と我がクラスの追受験対象者十九名で講習を行い、以降連日夜遅くまで残って検定試験合格に向け、頑張りました。結果は十五名が検定試験に合格することが出来ました。合格した皆さん本当におめでとうございませう。これからこれをきっかけに、最後まで諦めない努力をし続けることが大切だという事を忘れないで下さい。



担任として・・・
最後までご覧いただきありがとうございます。先日ある生徒から「通信まだ無いの、お母さんが楽しみにしているねん」と言われました。本当に申し訳ない気持ちで一杯になりました。言い訳はしません。発行が遅くなりました。訳ありませんでした。 谷口 和三



中で何かを手に入れ、身に付けて欲しい」という挨拶を頂き、みんなそれを受けて一生懸命頑張りました。結果としては形に残る賞状は一枚もなかったのですが、みんなの中に刻まれた思い出は本当に素敵なものになったでしょう。一日本当にお疲れ様。自分も百m全力で走りました。やっぱり体を動かすことは気持ちよくて楽しいですね。閉会式の後みんなでハイチーズ。